

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和2年9月3日(2020.9.3)

【公表番号】特表2019-527282(P2019-527282A)

【公表日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【年通号数】公開・登録公報2019-039

【出願番号】特願2019-503970(P2019-503970)

【国際特許分類】

C 0 9 J	163/00	(2006.01)
C 0 9 J	11/06	(2006.01)
C 0 9 J	11/04	(2006.01)
C 0 9 J	11/08	(2006.01)
C 0 8 G	59/68	(2006.01)
C 0 8 G	59/56	(2006.01)

【F I】

C 0 9 J	163/00
C 0 9 J	11/06
C 0 9 J	11/04
C 0 9 J	11/08
C 0 8 G	59/68
C 0 8 G	59/56

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月22日(2020.7.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

硬化性接着剤のための前駆体組成物であって、前記前駆体は、

a )

i . 少なくとも1つのポリエーテルアミンを含み、少なくとも45(アミン当量の単位であるg/molとして)のアミン当量重量を有する、第1のエポキシ硬化剤と、

ii . 前記第1のエポキシ硬化剤とは異なる第2のエポキシ硬化剤又は二次硬化剤と、

iii . 金属硝酸塩触媒と、

iv . 任意に、金属トリフレート触媒と、

v . を含む、(A)部と、

b )

i . 少なくとも3個の官能基を有する少なくとも1つの多官能性の第1のエポキシ樹脂と、

ii . 前記第1のエポキシ樹脂とは異なる少なくとも1つの第2のエポキシ樹脂と、

iii . コアシェル型ポリマー強化剤と、

iv . フィラー材料と、

v . 任意に、エポキシ系反応性希釈剤と、

を含む、(B)部と、

を含む、前駆体組成物。

**【請求項 2】**

少なくとも 3 個の官能基を有する前記多官能性の第 1 のエポキシ樹脂が、芳香族かつアミン系エポキシ樹脂である、請求項 1 に記載の前駆体組成物。

**【請求項 3】**

前記第 2 のエポキシ樹脂が、ビフェノール A エポキシ樹脂、ビスフェノール F エポキシ樹脂、ノボラックエポキシ樹脂又はこれらの組み合わせから選択される、フェノール系エポキシ樹脂である、請求項 1 又は 2 に記載の前駆体組成物。

**【請求項 4】**

少なくとも 1 つのポリエーテルアミンを含む前記第 1 のエポキシ硬化剤が、少なくとも 50 (アミン当量の単位である g / mol として)、又は少なくとも 55 (アミン当量の単位である g / mol として) のアミン当量重量を有する、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の前駆体組成物。

**【請求項 5】**

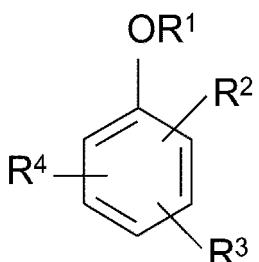
前記第 1 のエポキシ硬化剤が、ポリプロピレンオキシド又はポリエチレンオキシドに由来する少なくとも 1 つのポリエーテルアミンを含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の前駆体組成物。

**【請求項 6】**

前記二次硬化剤が、イミダゾール、イミダゾール塩、イミダゾリン又は式：

**【化 1】**

式(3)



[式中、R<sup>1</sup> は、H 又はアルキル、例えば、メチル又はエチル、好ましくはメチルであり、

R<sup>2</sup> は、C H<sub>2</sub> - N R<sup>5</sup> R<sup>6</sup> であり、

R<sup>3</sup> 及び R<sup>4</sup> は、互いに独立して、存在しても存在しなくてもよく、存在する場合、R<sup>3</sup> 及び R<sup>4</sup> は、C H<sub>2</sub> - N R<sup>5</sup> R<sup>6</sup> であり、

R<sup>5</sup> 及び R<sup>6</sup> は、互いに独立して、アルキル、好ましくは C H<sub>3</sub> 又は C H<sub>2</sub> C H<sub>3</sub> である。] の構造を好ましくは有する芳香族第 3 級アミン、からなる群から選択される、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の前駆体組成物。

**【請求項 7】**

物品を基材に接着する方法であって、

a ) 請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の硬化性接着剤のための前駆体組成物を提供する工程と、

b ) (A) 部と (B) 部とを混合し、硬化性接着剤組成物を形成させる工程と、

c ) 前記硬化性接着剤組成物を、前記物品の表面の少なくとも一部及び / 又は前記基材に適用する工程と、

d ) 前記硬化性接着剤組成物を介して前記物品を前記基材に接着的に接触させる工程と、

e ) 前記硬化性接着剤組成物を硬化させる工程と、  
を含む、方法。

**【請求項 8】**

前記硬化性接着剤組成物を介して前記物品を前記基材に接着的に接触させる前記工程の間に、プラケットを保持するために支持固定具を使用する工程を含まない、請求項 7 に記

載の方法。

**【請求項 9】**

工業用途のための、特に建設、自動車、航空又は航空宇宙産業における製造及び修理作業のための組成物である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の前駆体組成物。

**【請求項 10】**

物品、特に建設、自動車、航空又は航空宇宙産業における製造及び修理作業で用いられるブラケットを、基材に結合するための組成物である、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の前駆体組成物。